

「君の憎しみが私を咲かせた」

—— マットレスに咲いたカビのロードムービー ——

第五胸椎

나선반 연구회

2025年2月14日|金|より新宿バルト9ほか

監督 | 박·세ヨン 出演 | 박·지효, 문·헤인, 함·소지훈
プロデューサー | 박·세ヨン, 박·지효, 라인프로デューサー | 지영·산비
助監督 | 한·테비, 임·지효, 박·지효 撮影 | 박·세ヨン 照明 | 박·세ヨン 録音 | 윤·관희, 윤·규빈 編集 | 박·세ヨン
プロダクションデザイン | 지영·인, 김·미·리 衣裳 | 지영·인, 김·미·리 サウンドミックス | 박·세ヨン 音楽 | 한·민비, 마스ティング | 박·세ヨン CG | 박·세ヨン
配給 | 티·조이 DCPマスタリング・宣伝協力 | 合同会社ユメキラメク 宣伝デザイン | ten pieces

C 映倫

TJOY

新しく不気味なファンタジーホラー

何じゃこりゃ!? ジトジト侵食してくる…
とち狂ったホラーか? 哀しきアートか!?
考えるな。感じる! ……ヌメヌメ感じる!!
我々は既にソイツに横たわっているのかも
しれない……

清水崇(映画監督)

予想を超えた展開に終始驚嘆した。かつてシネマライズ時代に熱狂した湿度の高い強度が、ここには息づいている。ミクロな映像美とサウンドからは想像もできなかった、愛と創造のマクロ的視点の世界に酔いしれた。

石井勇一(アートディレクター)

「人生はクローズアップすれば悲劇だが、ロングショットで見れば喜劇だ」と、チャップリンは言った。では、この映画がクローズアップで映しているものは何だろうか? 過剰すぎる拡大は悲劇すら超えて、ただ現実を映している。

高城晶平(音楽家、ceroボーカル担当)

カビの花を咲かせるにはこれ以上の環境はないでしょうと言わんばかりの、ひたすら湿っていて憂鬱で哀しくて寂しい世界が続く。せつなく花ひらいたカビは避けられ嫌われ逃げられ捨てられる。人々の負のエネルギーをたっぷり吸い取り育ったカビは、人が堕ち、苦しみ、死んでゆく時、ほんの少しの希望を手に入れる。カビが主人公とするならば、この映画は大成長物語でありハッピーエンドだ。

富手麻妙(女優)

岩井俊二監督の初期短編を思い起こさせる、ジャンルを超えた独自の視点と狂気にも似た美学。もはや、実験的というワードでは取りきれない、韓国映画界の新たな才能が仕掛ける65分間を全身で体感せよ!

くれない響(映画評論家)

別れた人々の間に残されたモヤモヤ、恨み、約束と呪いはどこへ行くのか? これらの抽象的な塊は、恋人が「生息」していたベッドで混ざり合い、カビを咲かせる。カビのマットレスは旅をしながら、様々な感情に出会う。この旅を続けることでこれらの塊が行き着く先、さらにそこで何が待っているのかを垣間見ることができのかもしれない。

[監督バク・セヨン]

一緒に暮らしているカップル。部屋に置かれたマットレスからある日、カビが咲く。

二人の部屋からラブホテル、病院：各地を転々と彷徨うカビの旅が始まる。

カビは旅の途中出会う人々の心臓から近い第五番目の胸椎を奪い、

マットレスの中で吸収した背骨と学んできた様々な気持ちで自ら人間のように形を作り上げる。

その塊りは静かにカビの、マットレスの深いところに沈む。

第五胸椎

恐怖と美しさに対する魅惑的な想像

ファンタジア国際映画祭

人々の心を魅了する作品

ベルリン批評家週間

2025年2月14日|金|より新宿バルト9ほか @X@tjoy_ent

https://tjoy.jp/daigo_kyoutsui/

